

トヨタは、「トータルクリーン」をめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。

*1. Eco-VAS[エコバス]：Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。



LCA(ライフサイクルアセスメント)*2の実施

走行段階だけでなく、生産から廃棄までのライフサイクルで排出するCO₂やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。

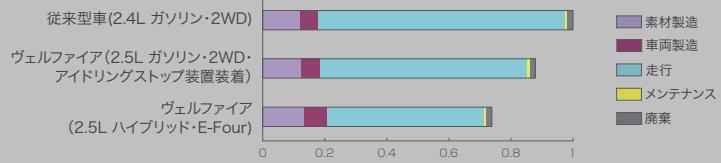


LCA Method Certified
www.tuv.com
ID: 0000045604

トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフ・ラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

*2. LCA: Life Cycle Assessment。資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

LCA実施結果 CO₂二酸化炭素(Carbon Dioxide)



●自動車の生涯走行距離10万km(10年)を走行した場合の結果です。

●トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認すること目的としているため、実施結果は指数で示しています。

1. 地球温暖化対策を実施しています。

■CO₂排出量の低減をめざして、ハイブリッドシステム、Dual VVT-i、Super CVT-i(自動無段変速機)などを採用。優れた低燃費を達成しています。



■エアコンにはオゾン層を破壊しない新冷媒HFO-1234yfを採用しています。

2. 都市環境のクリーン化に配慮しています。

■三元触媒、空燃比補償装置などの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、ハイブリッド車は「平成30年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。



3. 環境負荷物質を削減しています。

■鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界自主目標を達成しています。

トヨタ ヴェルファイア 環境仕様

車両仕様	車両型式		6AA-AYH30W	3BA-AGH30W		3BA-AGH35W		3BA-GGH30W		3BA-GGH35W				
	エンジン	型式	2AR-FXE	2AR-FE	2.493	無鉛レギュラーガソリン	4輪駆動方式	前輪駆動方式	前輪駆動方式	4輪駆動方式	2GR-FKS			
	燃料	総排気量(L)									3.456			
	駆動装置	駆動方式	E-Four(電気式4輪駆動方式)	前輪駆動方式										
		変速機	電気式無段変速機	自動無段変速機(Super CVT-i)										
	車両重量	(kg)	2,090~2,100	2,110~2,260	1,920~1,990 2,000~2,070	1,930~1,990 2,000~2,050	1,920~1,990 2,000~2,070	1,930~1,990 2,000~2,050	1,980~1,990 2,000~2,100	1,980~1,990 2,000~2,090	2,080~2,100 2,110~2,170	2,080~2,100 2,110~2,170		
環境情報	燃料消費率	WLTCモード燃費率*1(国土交通省審査値)	(km/L)	14.8	11.4	11.2	10.8	10.6	11.0	10.6	10.2	9.9	9.9	9.6
		CO ₂ 排出量	(g/km)	157	204	207	215	219	211	219	228	235	235	242
	JC08モード燃費率*1(国土交通省審査値)	燃費率	(km/L)	19.2	18.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		CO ₂ 排出量	(g/km)	121	126	—	—	—	—	—	—	—	—	—
環境情報	排出ガス	「2020年度燃費基準*2」をクリアしています。				「平成27年度燃費基準*2」をクリアしています。								
		主要燃費改善対策	ハイブリッドシステム アイドリングストップ装置 電気式無段変速機 可変バルブタイミング 電動パワーステアリング 充電制御	自動無段変速機 可変バルブタイミング 電動パワーステアリング 充電制御	アイドリングストップ装置 自動無段変速機 可変バルブタイミング 電動パワーステアリング 充電制御	アイドリングストップ装置 筒内直噴噴射 可変バルブタイミング 電動パワーステアリング 充電制御								
	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	平成30年基準排出ガス75%低減レベル*3				平成30年排出ガス規制適合*3								
		CO ₂ または適合規制値(g/km)	1.15				1.15							
		NMHC	0.025				0.10							
	車外騒音(加速/定常/近接)	dB	72/70/73			75/70/82				75/70/87				
		冷媒の種類(GWP値*4)/使用量(g)	鉛			HFO-1234yf(1.5*)/850								
	環境負荷物質削減	水銀				自工会2006年自主目標達成(1996年比)/10以下*6								
		カドミウム				自工会2005年目標達成(2005年1月以降使用禁止)*7								
	車室内VOC	六価クロム				自工会2007年目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
		リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	TSOP		自工会2008年目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
		樹脂、ゴム部品への材料表示	TPO*8			インバネース、バンパー、グローブボックスなど								
		リサイクル材の使用	リサイクルバンパーPP			ドアトリム、スライドドア、フロントドアガラスなど								
			再生フェルト			ツッキサイトリムなど								
			再生PP			バッテリーケースなど								

*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 *3. WLTCモード走行

*4. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) *5. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。

*6. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 *7. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピューターメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。 *8. TPO: Thermo Plastic Olefin

4. VOC*3の低減を推進しています。

■内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値*4」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。 *3.VOC : Volatile Organic Compounds

*4. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。

5. 環境に配慮した運転を支援します。

■環境に配慮した走りをしているかどうか、メーター内のハイブリッドシステムインジケーター やエコドライブインジケーター*5で確認できます。 *5. ガソリン車のみ設定。



6. リサイクル性の向上を図っています。

■インバネースやバンパー、グローブボックスなど内外装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP*6を使用。また、バンパーをリサイクルした樹脂をフロアアンダーカバーなどに採用しています。 *6. TSOP : Toyota Super Olefin Polymer